

第30回大阪府環境審議会の開催結果の概要

日 時：平成18年 3月27日（月）

場 所：ホテルアウリーナ大阪

1. 揮発性有機化合物及び化学物質対策のあり方について（諮問）

今後の揮発性有機化合物対策のあり方及び化学物質の自主的な管理を促進する対策のあり方について諮問があった。

その結果、専門性が特に高く、集中的な議論が必要であることから部会を設置することと決定した。

2. 廃棄物処理計画の改定について（諮問）

廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき、平成22年度を目標年度とする廃棄物処理計画の改定について諮問があった。

その結果、専門性が特に高く、集中的な議論が必要であることから部会を設置することと決定した。

3. 温泉部会における決議事項の報告について（部会報告）

平成18年2月15日に開催された温泉部会の内容について、部会長から報告がなされた。

温泉法に基づく温泉掘削及びポンプ設置の許可申請13件のうち、9件は許可することに支障なしとの報告であったが、残りの4件については、温泉への影響があるとして定められた制限距離内に、別の申請があるという理由により許可することが適切でないと判断されたことが報告された。

4. 平成18年度公共用水域及び地下水の水質測定計画について（部会報告）

平成18年2月8日に開催された水質測定計画部会で審議・決議された「平成18年度公共用水域及び地下水の水質測定計画」の内容について、部会長から報告がなされた。

5. 悪臭防止法に基づく臭気指数規制の導入について（報告）

多種多様な悪臭物質による複合臭等に対応するため、現行の濃度規制から人の嗅覚により測定する規制方式（臭気指数規制）を府内に導入することについて報告がなされた。